

# 「特定行為研修の効率的な研修体制についての探索的研究」への

## ご協力をお願い

わが国では医療需要の変化への対応が急務であり、医療・介護分野でも生産性向上が求められ、タスク・シフト、タスク・シェアの推進が実施されています。その中でも医師から看護師へのタスク・シフティングの一環として特定行為に係る看護師の研修(以下、特定行為研修)が実施されています。特定行為研修は2015年10月から開始され5年近く経過したものの研修を修了した看護師(以下、研修修了者)は約1,954人とどまっている状況です。このような中、2019年4月には、研修修了者の活躍推進と受講負担の軽減を目的に、制度が一部改正され、2020年2月には指定研修機関数も191機関に増加し、今後の研修修了者数の増加が期待されているところです。

一方で、指定研修機関数は増加しているものの、先行研究等から、事務作業、人材確保、施設・設備の準備等の負担や、実習での症例数の確保及び実習場所の調整が困難であることなどが研修機関の運営上の課題として挙がっているが、研修修了者養成の効率性の観点からの情報はまだ少ない現状です。

そこで、本研究では、全国の指定研修機関を対象に、**研修体制の実態把握を実施し、効率的な研修修了者養成に資する研修提供体制に関する示唆を得る**ことを目的としています。

なお、この臨床研究等の実施については、自治医科大学医学系倫理審査委員会の承認を得たうえで、自治医科大学学長の許可を受けています。

- ・当質問紙での調査はその検討材料となるため、率直なご意見をいただけますようお願い致します。
- ・回答時間は約40～60分です。
- ・回答時間の短縮のため、年次報告書をご準備いただき、回答いただくことをお勧め致します。
- ・自由記述によるご回答データは組織名が特定されないように処理致します。なお、施設名・部署名などは記入しないようにお願いします。
- ・回答締め切りは、**2020年〇月〇日まで**です。それまでにご回答ください。
  
- ・本研究に参加することによって生じる費用負担はありません。本研究に参加することによるリスクはありません。
- ・この研究に参加するかどうかは任意です。あなたの自由意思で決めてください。参加に同意されなくても、不利益を受けるようなことは一切ありません。
- ・本調査は、無記名での調査・分析を行うため、回答後の同意撤回はできないことをご了承ください。
- ・上記を前提に、処理されたデータが調査結果として公表される場合がございます。

次に、研究の計画について説明させていただきます。

## 1. 研究課題名

「特定行為研修の効率的な研修体制についての探索的研究」(厚生労働行政推進調査事業費補助金)

## 2. 研究責任者

自治医科大学看護学部 教授 村上礼子

## 3. 研究の目的・意義

本研究では、指定研修機関の研修体制の実態把握を実施し、効率的な研修修了者養成に資する研修提供体制に関する示唆を得ることを目的としています。本研究で指定研修機関の研修体制の実態を明らかにすることにより、研修修了生を効率的に輩出する指定研修機関の研修提供体制を抽出でき、類型化することが可能になります。また、指定研修機関を支援する施策を検討するための基礎資料を得ることも可能になります。

## 4. 調査方法

### 1) 対象者

看護師の特定行為研修を行う指定研修機関 191 機関(2020 年 2 月現在)に所属する特定行為研修の提供体制ならびに体制整備について回答可能な者(各機関 1 名)

### 2) 調査手順

インターネットを活用した無記名のアンケートにて調査します。以下の URL または QR コードにアクセスいただき、WEB 上のアンケートに回答いただきます。回答方法には、選択肢と自由記載があります。

アンケート調査によって収集した情報は自治医科大学および業務委託契約を実施しているマイボイスコム株式会社において集計・解析します。

### 3) 調査項目

- ① 研修機関の概要(施設種別、規模、研修機関として指定された時期等、受講期間、募集回数)
- ② 実施している特定行為区分
- ③ 受講者定員数ならびに応募数、年間修了者数、修了率
- ④ 年間の研修実施回数
- ⑤ 外部の施設に所属する受講者の受け入れ状況(計画及び実績)
- ⑥ 症例数確保のための工夫
- ⑦ 研修受講者確保にあたっての工夫
- ⑧ 研修運営上のコストに関する工夫

### 3) 研究期間

この研究の期間は、令和 2 年〇月〇日から令和 4 年 3 月 31 日までです。

## 5. 個人情報の取り扱い

Web 調査の結果は、研究期間中は自治医科大学看護学部南棟3階村上研究室キャビネット内に USB メモリにて保管します。研究終了後は、24 か月間同様に保管します。Web アンケートツールから情報を保存した USB メモリについて、データ消去専用ソフトウェアにより消去します。

この研究を実施するにあたって、あなたの回答内容は Web 調査の段階で匿名化され処理されます。なお、回答内容を

業務委託先であるマイボイスコム株式会社以外の第三者に提供することはありません。研究成果については、個人を特定できないようにして学会や論文などで報告いたします。

6. ご希望があれば個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

#### 7. 本調査に関する問い合わせ先

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-159 自治医科大学看護学部

教授 村上 礼子

TEL/FAX 0285-58-7294(直通) E-mail [murarei@jichi.ac.jp](mailto:murarei@jichi.ac.jp)

#### 8. 苦情がある場合

苦情がある場合は、自治医科大学臨床研究支援センター臨床研究企画管理部管理部門(電話 0285-58-8933)で受け付けます。

## 質問紙

0. 画面の内容をご確認の上、調査にご協力いただける方は、にをしてください。 研究同意

1. 研修機関の施設種別についてお教えてください。

大学院 大学 病院 医療関係団体 診療所 専門学校 その他

2. いつから研修を開始しましたか。

2015年度 2016年度 2017年度 2018年度 2019年度 2020年度

3. 研修修了までの最短の受講期間をお教えてください。

6ヶ月未満 6ヶ月以上1年未満 1年以上1年半未満 1年半以上2年未満 2年以上

4. 研修修了までの平均的な受講期間をお教えてください。

6ヶ月未満 6ヶ月以上1年未満 1年以上1年半未満 1年半以上2年未満 2年以上

5. いつから修了者を輩出していますか。

2015年度 2016年度 2017年度 2018年度 2019年度 2020年度

6. 年間の募集回数をお教えてください。もし、研修開始後年間の募集回数を変更した場合には「その他」を選択し、「年度・年間の募集回数」をすべて記載してください。

年1回 年2回 その他

7. 特定行為区分の変更をしたことがありますか。ある場合はいつ変更しましたか。変更した場合はその理由をお教えてください。

2015年度 2016年度 2017年度 2018年度 2019年度 2020年度 変更したことがない

8. 領域別パッケージ研修の申請をしたことがありますか。ある場合はいつ申請しましたか。

2019年度 2020年度 変更申請をしたことがない

9. 開始時から現在までの総受講者実数をお教えてください。

名

10. 総研修修了者実数をお教えてください。

名

11. 研修を中断した受講者の実数をお教えてください。また、中断の理由をお教えてください。該当者がいない場合には「N」を入力してください。

\*「中断」とは研修を完全に中止し、区分別科目を1科目も修了していないことを示します。

名

中断の理由

12. 指定研修機関が設定している受講期間（Q3）よりも延長して修了することを認めていますか。回答の理由をお教えてください。

認める 認めない

認める/認めない理由

13. 研修修了までの最短の受講期間（Q3）よりも延長して修了した受講者の実数をお教えてください。また、受講生の延長の理由をお教えてください。該当者がいない場合には「N」を入力してください。

名

延長の理由

14. (12で「認める」と回答した場合お答えください。) 受講生が受講期間を延長した場合の対応について具体的にどのようにしているのかをお教えてください。

15. 2015年度の総受講者実数および総応募者実数をお教えてください。募集していない、受講者がいない場合には「N」を入力してください。

総受講者実数

総応募者実数

16. 2015年度の各特定行為区分の募集定員、応募数、修了者数、受講料をお教えてください。募集していない場合には「N」を入力してください。また、施設独自のコース（例：在宅コースなど）がある場合には、「施設独自の

コース」にコース内に含まれる特定行為区分、定員、応募数、修了者数、受講料を記載してください。

特定行為区分	定員	応募数	修了者数	受講料
呼吸器(気道確保に係るもの)関連				
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連				
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連				
循環器関連				
心嚢ドレーン管理関連				
胸腔ドレーン管理関連				
腹腔ドレーン管理関連				
ろう孔管理関連				
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連				
栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連				
創傷管理関連				
創部ドレーン管理関連				
動脈血液ガス分析関連				
透析管理関連				
栄養及び水分管理に係る薬剤 投与関連				
感染に係る薬剤投与関連				
血糖コントロールに係る薬剤 投与関連				
術後疼痛管理関連				
循環動態に係る薬剤投与関連				
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連				
皮膚損傷に係る薬剤投与関連				
施設独自のコース				

17. 2016年度の総受講者実数および総応募者実数をお教えてください。募集していない、受講者がいない場合には「N」を入力してください。

総受講者実数

総応募者実数

18. 2016年度の各特定行為区分の募集定員、応募数、修了者数、受講料をお教えてください。募集していない場合には「N」を入力してください。また、施設独自のコース(例:在宅コースなど)がある場合には、「施設独自のコース」にコース内に含まれる特定行為区分、定員、応募数、修了者数、受講料を記載してください。

特定行為区分	定員	応募数	修了者数	受講料
呼吸器(気道確保に係るもの)関連				
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連				
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連				
循環器関連				

心嚢ドレーン管理関連				
胸腔ドレーン管理関連				
腹腔ドレーン管理関連				
ろう孔管理関連				
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連				
栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連				
創傷管理関連				
創部ドレーン管理関連				
動脈血液ガス分析関連				
透析管理関連				
栄養及び水分管理に係る薬剤 投与関連				
感染に係る薬剤投与関連				
血糖コントロールに係る薬剤 投与関連				
術後疼痛管理関連				
循環動態に係る薬剤投与関連				
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連				
皮膚損傷に係る薬剤投与関連				
施設独自のコース				

19. 2017年度の総受講者実数および総応募者実数をお教えてください。募集していない、受講者がいない場合には「N」を入力してください。

総受講者実数

総応募者実数

20. 2017年度の各特定行為区分の募集定員、応募数、修了者数、受講料をお教えてください。募集していない場合には「N」を入力してください。また、施設独自のコース(例:在宅コースなど)がある場合には、「施設独自のコース」にコース内に含まれる特定行為区分、定員、応募数、修了者数、受講料を記載してください。

特定行為区分	定員	応募数	修了者数	受講料
呼吸器(気道確保に係るもの)関連				
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連				
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連				
循環器関連				
心嚢ドレーン管理関連				
胸腔ドレーン管理関連				
腹腔ドレーン管理関連				
ろう孔管理関連				
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連				
栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連				

創傷管理関連				
創部ドレーン管理関連				
動脈血液ガス分析関連				
透析管理関連				
栄養及び水分管理に係る薬剤 投与関連				
感染に係る薬剤投与関連				
血糖コントロールに係る薬剤 投与関連				
術後疼痛管理関連				
循環動態に係る薬剤投与関連				
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連				
皮膚損傷に係る薬剤投与関連				
在宅・慢性期領域パッケージ				
術中麻酔管理領域パッケージ				
外科系基本領域パッケージ				
外科術後病棟管理領域パッケージ				
施設独自のコース				

21. 2018年度の総受講者実数および総応募者実数をお教えてください。募集していない、受講者がいない場合には「N」を入力してください。

総受講者実数

総応募者実数

22. 2018年度の各特定行為区分の募集定員、応募数、修了者数、受講料をお教えてください。募集していない場合には「N」を入力してください。また、施設独自のコース（例：在宅コースなど）がある場合には、「施設独自のコース」にコース内に含まれる特定行為区分、定員、応募数、修了者数、受講料を記載してください。

特定行為区分	定員	応募数	修了者数	受講料
呼吸器(気道確保に係るもの)関連				
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連				
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連				
循環器関連				
心嚢ドレーン管理関連				
胸腔ドレーン管理関連				
腹腔ドレーン管理関連				
ろう孔管理関連				
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連				
栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連				
創傷管理関連				
創部ドレーン管理関連				

動脈血液ガス分析関連				
透析管理関連				
栄養及び水分管理に係る薬剤 投与関連				
感染に係る薬剤投与関連				
血糖コントロールに係る薬剤 投与関連				
術後疼痛管理関連				
循環動態に係る薬剤投与関連				
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連				
皮膚損傷に係る薬剤投与関連				
在宅・慢性期領域パッケージ				
術中麻酔管理領域パッケージ				
外科系基本領域パッケージ				
外科術後病棟管理領域パッケージ				
施設独自のコース				

23. 2019年度の総受講者実数および総応募者実数をお教えてください。募集していない、受講者がいない場合には「N」を入力してください。

総受講者実数

総応募者実数

24. 2019年度の各特定行為区分の募集定員、応募数、修了者数、受講料をお教えてください。募集していない場合には「N」を入力してください。また、施設独自のコース（例：在宅コースなど）がある場合には、「施設独自のコース」にコース内に含まれる特定行為区分、定員、応募数、修了者数、受講料を記載してください。

特定行為区分	定員	応募数	修了者数	受講料
呼吸器(気道確保に係るもの)関連				
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連				
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連				
循環器関連				
心嚢ドレーン管理関連				
胸腔ドレーン管理関連				
腹腔ドレーン管理関連				
ろう孔管理関連				
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連				
栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連				
創傷管理関連				
創部ドレーン管理関連				
動脈血液ガス分析関連				
透析管理関連				

栄養及び水分管理に係る薬剤 投与関連				
感染に係る薬剤投与関連				
血糖コントロールに係る薬剤 投与関連				
術後疼痛管理関連				
循環動態に係る薬剤投与関連				
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連				
皮膚損傷に係る薬剤投与関連				
在宅・慢性期領域パッケージ				
術中麻酔管理領域パッケージ				
外科系基本領域パッケージ				
外科術後病棟管理領域パッケージ				
施設独自のコース				

25. 2020年度の総受講者実数および総応募者実数をお教えてください。募集していない、受講者がいない場合には「N」を入力してください。

総受講者実数

総応募者実数

26. 2020年度の各特定行為区分の募集定員、応募数、修了者数、受講料をお教えてください。募集していない場合には「N」を入力してください。また、施設独自のコース（例：在宅コースなど）がある場合には、「施設独自のコース」にコース内に含まれる特定行為区分、定員、応募数、修了者数、受講料を記載してください。

特定行為区分	定員	応募数	修了者数	受講料
呼吸器(気道確保に係るもの)関連				
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連				
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連				
循環器関連				
心嚢ドレーン管理関連				
胸腔ドレーン管理関連				
腹腔ドレーン管理関連				
ろう孔管理関連				
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連				
栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連				
創傷管理関連				
創部ドレーン管理関連				
動脈血液ガス分析関連				
透析管理関連				
栄養及び水分管理に係る薬剤 投与関連				
感染に係る薬剤投与関連				

血糖コントロールに係る薬剤 投与関連				
術後疼痛管理関連				
循環動態に係る薬剤投与関連				
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連				
皮膚損傷に係る薬剤投与関連				
在宅・慢性期領域パッケージ				
術中麻酔管理領域パッケージ				
外科系基本領域パッケージ				
外科術後病棟管理領域パッケージ				
施設独自のコース				

27. 指定研修機関に所属している方以外の受講を受入れていますか。また、その理由をお教えてください。

はい いいえ

理由

28. (16. で「はい」とお答えの場合) 指定研修機関に所属している方以外の受け入れ範囲をお教えてください。その他受講科目の限定や人数の限定など受け入れ条件があれば、そちらも記載してください。

指定研修機関に所属している方以外でも誰でも受け入れる 同一法人に限る

その他の受け入れ条件

29. (27. で「はい」とお答えの場合) 各年度の指定研修機関に所属している方以外の施設に所属する応募者数を教えてください。募集していない場合には「N」を入力してください。

2015年度

 名

2016年度

 名

2017年度

 名

2018年度

 名

2019年度

名

2020 年度

名

30. (27. で「はい」とお答えの場合) 各年度の指定研修機関に所属している方以外の施設に所属する受講者数をお教えてください。募集していない場合には「N」を入力してください。

2015 年度

名

2016 年度

名

2017 年度

名

2018 年度

名

2019 年度

名

2020 年度

名

31. (27. で「いいえ」とお答えの場合) 今後指定研修機関に所属している方以外の施設に所属する受講者の受け入れを検討していますか。その理由をお教えてください。

検討している  検討していない

理由

32. 協力施設がありますか。また、「はい」の場合どのような施設が協力施設になっているかをお教えてください。

はい  いいえ

どのような施設が協力施設になっているか

33. (32. で「はい」とお答えの場合) 協力施設は何施設ですか。

 施設

34. 指定研修機関として指導者は何名いますか。

 名

35. 指導補助者は何名いますか。

 名

36. 特定行為研修に専従（特定行為研修業務のみ実施）するスタッフ（教育・調整担当）は何名いますか。

 名

37. 特定行為研修に専従（特定行為研修業務のみ実施）するスタッフ（事務職）は何名いますか。

 名

38. 症例数確保のための工夫として以下の項目のうち実施している内容をすべてお答えください。また、その他に工夫している点があれば「その他」に記入してください。（複数回答可）

- 指定研修機関の指導者と打ち合わせや調整を実施している
- 協力施設の指導者と打ち合わせや調整を実施している
- 研修修了者に協力を依頼している
- シミュレーション教育（シミュレータ使用）を実施している
- シミュレーション教育（紙面症例使用）を実施している
- 外部研修（例：業者や学会等の研修機関以外の研修）を実施している
- 研修生の人数を制限している
- 協力施設を増やしている
- 他の指定研修機関と実習症例や研修を共有している
- その他

39. 研修受講者確保のための工夫として以下の項目のうち実施している内容をすべてお答えください。ま

た、その他に工夫している点があれば「その他」に記入してください。

- HP やポスターなどを利用している
- 都道府県の看護協会に周知の協力を依頼している
- 関連病院に周知の協力を依頼している
- 研修修了者に周知の協力を依頼している
- e ラーニングを実施している
- 夜間・休日開講を実施している
- 集中講義を実施している
- 受講しやすいように奨学金制度や専門実践教育訓練給付金などの制度を紹介している
- 研修に必要な機器（パソコンやシミュレータなど）を貸し出している
- 研修時に宿舎などを準備している
- 研修費用の助成をしている
- 研修日を勤務日扱いしている(研修日を設けている)
- その他

40. 研修運営上確保した財源をすべてお答えください。

- 看護師の特定行為に係る研修機関導入促進支援事業（厚生労働省）による支援を受けた
- 看護師の特定行為に係る指定研修機関運営事業（厚生労働省）による支援を受けた
- 都道府県から支援を受けた
- 市町村から支援を受けた
- 団体本部から支援を受けた
- 受講料を徴収した
- その他

41. 研修に関わる経費の年間収支の概算をお教えてください。(万単位)

収入  支出

42. 研修運営上の必要経費の年間支出に対する割合をお教えてください。

- 使用する施設整備費 \_\_\_\_\_ %
- シミュレータの整備費 \_\_\_\_\_ %
- e ラーニングの整備費 \_\_\_\_\_ %
- 実習委託費 \_\_\_\_\_ %
- 消耗品費 \_\_\_\_\_ %
- 人件費(給与) \_\_\_\_\_ %
- 人件費(謝金) \_\_\_\_\_ %

広報費 \_\_\_\_\_ %

旅費 \_\_\_\_\_ %

その他 \_\_\_\_\_ %

43. 研修運営上、経費を効率よく運用する方策があればお教えてください。

特定行為研修のために企業、学会・研究会等が提供している無料の対面でのセミナーを活用した

特定行為研修のために企業、学会・研究会等が提供している有料の対面でのセミナーを活用した

特定行為研修のために企業、学会・研究会等が提供している無料のオンラインセミナーを活用した

特定行為研修のために企業、学会・研究会等が提供している有料のオンラインセミナーを活用した

特定行為研修に必要なシミュレータを関係施設と共有して使用した

特定行為研修に必要な遠隔学習コンテンツを関係施設と共有して使用した

その他

44. 研修運営上の業務面での工夫として項目のうち実施している内容のうち重点的に実施している項目を5つ選択してください。その他に工夫している点があれば「その他」に記入してください。

専任の事務職員（正規）を任用した

専任の事務職員（定期雇用）を任用した

専任の教員（正規）を任用した

専任の教員（定期雇用）を任用した

観察評価試験（OSCE）の外部評価者を専従で確保した

研修者の学習支援のためのメンターを専従で確保した

研修設計に関する専門家を確保した

遠隔学習の専門家を確保した

シミュレーション教育の専門家を確保した

学習管理システムを活用した

ポートフォリオを活用した

外部研修を活用した

シミュレーションセンターを活用した

院内研修を活用した

研修者の相談対応に電話/FAX を用いた

研修者の相談対応にメールを用いた

研修者の相談対応に学習管理システムを用いた

研修者の相談対応にポートフォリオを用いた

先行している研修機関の情報収集をして取り入れた

その他

45. 指定研修機関内の業務分担についてお教えてください。

研修責任者は何人いますか。また、実施している業務内容についてすべてお答えください。

名

- 対面での指導
- 対面指導の調整
- 対面指導の受講管理
- 通信教育での指導
- 通信教育の受講管理
- 実習での指導
- 実習調整
- 実習指導の受講管理
- 筆記試験監督
- 観察評価試験(OSCE)・実技試験の監督
- 通信教育時の受講支援
- 備品管理(通信教育)
- 備品管理(OSCE・実技試験・実習)
- 研修に関する相談(研修者)
- 研修に関する相談(研修者以外)
- 研修中のトラブル対応
- 研修の変更・追加申請書類の作成
- 年次報告書の作成
- 給付金・補助金等の申請
- 各種会議調整・運営
- その他

46. 指定研修機関内の業務分担についてお教えてください。

専任の事務職員(正規)は何人いますか。また、実施している業務内容についてすべてお答えください。

名

- 対面での指導
- 対面指導の調整
- 対面指導の受講管理
- 通信教育での指導
- 通信教育の受講管理
- 実習での指導
- 実習調整

- 実習指導の受講管理
- 筆記試験監督
- 観察評価試験(OSCE)・実技試験の監督
- 通信教育時の受講支援
- 備品管理(通信教育用)
- 備品管理(OSCE・実技試験・実習)
- 研修に関する相談(研修者)
- 研修に関する相談(研修者以外)
- 研修中のトラブル対応
- 研修の変更・追加申請書類の作成
- 年次報告書の作成
- 給付金・補助金等の申請
- 各種会議調整・運営
- 協力施設との調整
- その他

47. 指定研修機関内の業務分担についてお教えてください。

専任の事務職員（定期雇用）は何人いますか。また、実施している業務内容についてすべてお答えください。

名

- 対面での指導
- 対面指導の調整
- 対面指導の受講管理
- 通信教育での指導
- 通信教育の受講管理
- 実習での指導
- 実習調整
- 実習指導の受講管理
- 筆記試験監督
- 観察評価試験(OSCE)・実技試験の監督
- 通信教育時の受講支援
- 備品管理(通信教育用)
- 備品管理(OSCE・実技試験・実習)
- 研修に関する相談(研修者)
- 研修に関する相談(研修者以外)
- 研修中のトラブル対応
- 研修の変更・追加申請書類の作成

- 年次報告書の作成
- 給付金・補助金等の申請
- 各種会議調整・運営
- 協力施設との調整
- その他

48. 指定研修機関内の業務分担についてお教えてください。

専任で研修指導に当たっている者（正規）は何人いますか。また、実施している業務内容についてすべてお答えください。

 名

- 対面での指導
- 対面指導の調整
- 対面指導の受講管理
- 通信教育での指導
- 通信教育の受講管理
- 実習での指導
- 実習調整
- 実習指導の受講管理
- 筆記試験監督
- 観察評価試験(OSCE)・実技試験の監督
- 通信教育時の受講支援
- 備品管理(通信教育用)
- 備品管理(OSCE・実技試験・実習)
- 研修に関する相談(研修者)
- 研修に関する相談(研修者以外)
- 研修中のトラブル対応
- 研修の変更・追加申請書類の作成
- 年次報告書の作成
- 給付金・補助金等の申請
- 各種会議調整・運営
- 協力施設との調整
- その他

49. 指定研修機関内の業務分担についてお教えてください。

専任で研修指導に当たっている者（定期雇用）は何人いますか。また、実施している業務内容についてすべてお答えください。

名

- 対面での指導
- 対面指導の調整
- 対面指導の受講管理
- 通信教育での指導
- 通信教育の受講管理
- 実習での指導
- 実習調整
- 実習指導の受講管理
- 筆記試験監督
- 観察評価試験(OSCE)・実技試験の監督
- 通信教育時の受講支援
- 備品管理(通信教育用)
- 備品管理(OSCE・実技試験・実習)
- 研修に関する相談(研修者)
- 研修に関する相談(研修者以外)
- 研修に関するトラブル対応
- 研修の変更・追加申請書類の作成
- 年次報告書の作成
- 給付金・補助金等の申請
- 各種会議調整・運営
- 協力施設との調整
- その他

50. 研修責任者、専任の事務職員（正規）、専任の事務職員（定期雇用）、専任で研修指導に当たっている者（正規）、専任で研修指導に当たっている者（定期雇用）以外に研修に関わっている人員がいましたら、その業務内容と人数をお教えてください。

51. 研修を運営するうえで工夫していることをお教え下さい。

52. 研修を運営するうえで困難に感じていることをお教えてください。

53. 回答者の職種をお教え下さい。

医師  看護師  事務担当者  その他

質問は以上になります。ご協力いただきましてありがとうございました。